

平成31年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

# アイ・あい だより



5月号

## 1か月過ぎて、「令和」に変わりました！

新年度が始まり早くも1ヶ月が過ぎ、新しい環境に最初は戸惑いもあったかもしれませんが、慣れてきている頃ではないでしょうか。また、元号も令和に変わり、新しい時代になりましたね。

初夏を感じさせる気候になってきましたが、寒暖差が激しいので水分補給をこまめに行いながら、上着を片手に細かい体温調節を心がけましょう。

## 年間行事

- 6月15日(土)授業公開(中高)、運動会(幼小)
- 7月2日(火)保護者交流会
- 7月25日(木)サマースクール
- 7月30日(火)視覚障害のガイドヘルプ&点字体験
- 8月5日(月)視覚障害者向けパソコン講習会
- 8月7日(水)弱視教育研修会
- 10月19日(土)授業公開・学校説明会
- 11月2日(土)文化祭
- 11月14日(木)高等部体験入学
- 12月6日(金)第2回保護者交流会
- 12月26日(木)ウインタースクール
- 1月24日(金)授業公開
- 2月4日(火)中学部体験入学



## 視覚障害者の世界



弱視は、メガネなどで矯正できない低視力者のことで、「ロービジョン」と表現されることもあります。弱視者の見え方は多様です。また、全盲者も、全く見えない人や、目の前の人の動きが分かる人がいるなど、個々の視覚障害者が実際にどのような見え方をしているのか、どのような不便があるのかなどは当事者でなければ判らないことが多いのです。晴眼者の人たちには何気なくできている日常生活上の動作も、視覚障害者にはスムーズにこなすことが難しいことも多いのです。

この「視覚障害者の世界」では、そのような視覚障害者が日常生活で、ふと感じている困ったことを紹介して、解決策を探っていくコーナーです。

## 積極的にあいさつしよう！！



みなさんは毎日あいさつをしていますか？弱視者は、人を判別する際、背格好や髪型などで判断するため、「多分〇〇さんだけど…」と確信を持つことができなったり、遠くから近づいてくる人が誰なのか視認できず、あいさつのタイミングを逃してしまうことがあります。同じように、全盲者も人の気配はするけど、そこに人がいるのか確信を持たず、声をかけていいのかわからない不安になることがあります。では、あいさつをどのようにすればいいと思いますか？

**解決策:** あいさつをすると気持ち良くなるし、コミュニケーションの始まりになるので、自信がなくても、不安でも、自分から積極的にあいさつをしていきましょう！あいさつをすることは悪いことではないので安心してください。

あいさつをした後で声をたよりにその人が誰なのか判別してみましょう！自分からあいさつをすることで、相手も返事してくれます。返事をしてもらえれば、その人の声が聴けて誰なのか判別できますね。また、視覚障害者にとって、あいさつには相手とのコミュニケーションとしての手段以外にも大きな役割があります。それは、周囲の人に対して「私にぶつからないように気を付けてください！」というメッセージも含んでいることです。すれ違った相手が自分を視認できているとは限りません。通行する時に、お互いぶつかる危険があるかもしれません。こちらからあいさつすることで、自分だけでなく、相手も安全に通行することができるのです。まずは学校で、積極的にすれ違う人にあいさつをして、相手や学校全体が明るい雰囲気になるように頑張ってみましょう。

では、晴眼者が視覚障害者にあいさつをするときには、どのようにしたらよいでしょうか？「こんにちは」だけでは、だれがあいさつしているのかわからず、また、自分にあいさつされているのかも不安になります。「〇〇さんこんにちは、△△です。」のように、相手の名前と自分の名前の両方を伝えると、視覚障害者は安心してあいさつができます。